



関東歯内療法学会第18回学術大会及び
総会が開催されました

2019年1月27日（日）に東京・秋葉原コ
ンベンションホールにて

大会長：細矢哲康先生（鶴見大学歯学部）

実行委員長：山崎泰志先生（鶴見大学歯学
部）

テーマ：『必見！ここまでわかるCBCT時
代のデンタル・パントモ読影術』

基調講演① 金田 隆 先生

基調講演② 澤田 則宏 先生

午後は、テーブルクリニック10演題があ
りました。

柿沼秀明先生 「根管治療を始める前に必
要なこと」を考えた歯内療法

新谷武史先生 歯内療法領域でのCBCT撮
影基準について

山口正孝先生 Ni-Ti根管拡大形成の前に！

明石俊和先生 歯科用多目的超音波治療
器による根管治療

稲本雄之先生 磁力を用いた根管からの破
折ファイル取り上げ

戸田賀世先生 CBCTによる経過観察

池田毅先生 持続的な浸出液や排膿がみら
れる難治性根尖性歯周炎に対する生分解型
有機生理活性材料の有用性について

湯本真幸先生 AAE RET コンシダレー
ションの再考

藤井万弘先生 歯内療法での医事紛争を起
こさないために&最近の難症例、稀有症例
の治療報告

岡口守雄先生 根尖周囲の透過像は失活を
意味するのか

大会長賞に岡口守雄先生が投票の結果選ば
れました

参加者：179名（有料169名、無料1
0名）

協賛企業 株式会社ヨシダ、デンツプライ
シロナ社、株式会社松風、東京歯科産業、
白水貿易、茂久田商会、ペントロンジャパ
ン、デンタルダイヤモンド社

参加者の感想

石崎 秀隆（東京都勤務医）

2019年1月27日、第18回関東歯内
療法学会学術大会・総会が東京、秋葉原コ

ンベンションホールで開催され、
200名近い先生方が参加され

た。

今回のメインテーマは『必見ここまでわかるCBCT時代のデンタル、パントモ読影術』と題し、午前2題の基調講演、午後は10題のテーブルクリニックが行われた。山崎泰志先生の司会の元、石井隆資学会長と細矢哲康大会長の挨拶から始まり基調講演では初めに日本大学松戸歯学部放射線学講座教授の金田隆先生が1) 歯内療法に必要なパノラマエックス線写真の正常解剖像と対比したCT正常解剖の供覧2) 歯内療法に必要な鑑別を必要とする顎骨病変および上顎洞病変の画像診断、3) CT利用時のデジタルデータの取り扱いや臨床応用などについて講演された。また対象歯だけでなく写っている歯、顎骨、軟組織にも異常所見がないかも確認し、分からない所見や疑わしい所見がある場合は遠慮なく大学病院への対診も行うよう専門医との連携についても言及された。

続く基調講演では東京都新宿区開業の澤田則宏先生によりデンタルエックス線写真の偏心投影の見方について、10題の偏心投影デンタルエックス線写真を元に講演された。CBCTを撮影すればもちろん3次元的な位置関係を把握できるが、被曝の問題もある。偏心投影することにより歯根の頬舌的な位置関係がある程度把握でき、デンタルエックス読影の重要性を再認識させて頂けたと思う。

午後は10題のテーブルクリニックが行われ、優秀発表賞には東京都千代田区開業岡口守雄先生『演題：根尖周囲の透過像は失活を意味するのか』が選ばれた。細菌感染した歯髄は初期の段階では健全歯髄と細菌感染した歯髄が混在しているとするイタリアのDr. Domenico Ricucciの病理切片を紹介し、実際の症例では歯髄の一部が細菌

感染していると思われ、根尖部に歯根膜腔の拡大を認める場合でも、その感染を除去し健全歯髄を温存することによって歯根膜腔の拡大は消失し健全歯髄の保存ができる可能性を示唆された。

また協賛企業として株式会社松風、デンタルダイヤモンド社、デンツプライシロナ社、東京歯科産業、白水貿易、ペントロンジャパン、茂久田商会、株式会社ヨシダから企業展示を頂いた。

総会後の懇親会にも多くの先生方が参加され、第18回関東歯内療法学会学術大会・総会は盛況のうちに幕を閉じた。

第18回学術大会アンケート集計

参加人数 179名 回収枚数55枚

Q今回の学術大会に参加されていたか？

- ・読影は日々の臨床で必須のもので、あらためて掘り下げて頂き、勉強になりました。
- ・臨床的な処置や理論もかみ砕いて説明して頂いたので、わかりやすかった。
- ・演者のスキルとエビデンスの講演が素晴らしい。
- ・普段重点的に学ぶ機会の少なかった画像診断について学べた。
- ・画像診断の重要性が分かった。
- ・CBCTについて、知らない事項が多かった。
- ・画像診断の活用方法について理解を深められた。
- ・CBCTユーザーとして、とても有益な話が伺えた。

Q今回の講演の内容は、今後の診療に役に立ちますか？

- ・CBCTの読影
- ・自分の臨床の一番大事にしていることだ

から。

・日常臨床での読影の仕方が向上する。

- ・非常に臨床的であったから。
- ・身近な基礎的なテーマだったので。
- ・十分役立ちます。特に従来のデンタルから得られる情報。
- ・診断前の2方向からのデンタル撮影の方が、CBCTよりも情報量が多く、有効であることを今後参考にしようと思った。パントモを撮った際は、上顎洞の方も注視しようと思った。

Q今回良く理解できた事は何でしたか

- ・CBCT、その読影と適応。
- ・X線、レントゲンの基礎。
- ・偏心投影撮影の有用性、その重要性。
- ・画像診断のスキルアップ術
- ・CBCTの撮影機序、被爆について。X線透過像、不透過像の示す本来の意味。従来のデンタルの有用性。
- ・パントモとCTの違いと共通点が解った。
- ・デンタルの読解について。
- ・CBCTの重要性。
- ・解剖を振り返ることができた。
- ・CTによる診断の重要性、大学病院との連携。

関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：

golden-circle@nifty.com 関東歯内療法学会2

関東歯内療法学会第21回ハンズオンセミナー
2019年8月29日（木） 14:00~16:00

場所：秋葉原コンベンションホールにて

『歯内療法の最前線を学ぶ～歯内再生治療
ハンズオンコース』

講師：岡崎勝至先生（ニューヨーク大学歯
学部歯内療法学講座准教授）

第23回サマーセミナーについて

テーマ：「パラダイムシフト 歯内療法に
おける3Dプリンター技術」

2019年8月29日（木） 17:00~19:00

講師：岡崎勝至先生（ニューヨーク大学歯
学部歯内療法学講座准教授）

詳細はwebよりご確認ください。

協賛企業株式会社モリタ

第19回学術大会・総会のお知らせ

2020年1月26日（日） 9:30~16:40

会場：秋葉原コンベンションホール 2F

テーマ：「再根管治療のここがポイント！－
根管充填材の除去」

大会長：平井 順 先生

実行委員長：岸本 英之 先生

講演：テーマ講演3演題 受賞講演1演題 一
般口演数演題

演者： 吉岡 俊彦先生

田中 利典先生

田中 浩祐先生

岡口 守雄先生 他